

## 南部クリーンセンターで発生した火災について

本年 1 月 1 4 日に南部クリーンセンターにおいて発生した火災について、発生原因や現在の対応状況等を御報告いたします。

### 1 火災の概要

#### (1) 発生日時

令和 8 年 1 月 1 4 日 (水) 1 6 時 2 3 分 (1 月 1 6 日 (金) 1 6 時 1 0 分鎮火)

#### (2) 発生場所

南部クリーンセンター選別資源化施設内粗大ごみピット (別添図のとおり)

#### (3) 発生原因

粗大ごみピットに貯留しているごみの中に混入していたリチウムイオン電池が何らかの要因で発火し、周囲のごみが燃焼し始めたことにより、粗大ごみピット内のごみが広範囲にわたって燃焼したと推定される。

また、以下の要因が重なったことにより、火災が拡大したものと考えられる。

- ・ 持込ごみの受入れが多い年末直後で、粗大ごみの貯留量が多かったこと。
- ・ 貯留しているごみの層の深い位置から燃え始めたため、ピット内の火炎を自動で検知して火災警報の発報や放水を行う設備の作動が遅れたこと。

#### (4) 被害状況

選別資源化施設・バイオガス化施設・環境学習施設「さすてな京都」に汚損・焼損・水没などの被害が発生

#### (5) 現在の状況

これまでの復旧等の状況は次のとおり。

- |           |  |
|-----------|--|
| 1 月 2 1 日 | 焼却施設の処理を再開                                   |
| 2 2 日     | 家庭ごみ及び許可業者収集ごみの搬入を再開                         |
| 2 月 2 日   | 持込ごみの搬入を市民に限定して再開<br>(東北部クリーンセンターに搬出して処理を実施) |
|           | ※ 事業者については引き続き当面の間停止し、東北部クリーンセンターへの搬入を御案内    |
| 9 日       | バイオガス化施設の処理を再開                               |

選別資源化施設及び環境学習施設「さすてな京都」については、現在も稼働停止及び休館している。

## 2 当面の対応・対策

- ・ 南部クリーンセンターにおいては、躯体・設備の点検や強度の確認などの被害状況の調査、清掃や軽微な補修等の作業、復旧に要する費用の概算を実施している。
- ・ ごみの持込みを受け付けている南部・東北部クリーンセンターにおいて、持込ごみの搬入物検査を強化している（搬入台数の平準化により1件ごとの検査時間を長くし、危険物の混入確認作業を強化）。
- ・ あわせて、火災発生リスクを下げするため、東北部クリーンセンターにおいて、粗大ごみピットの貯留量を可能な限り低減している。
- ・ 火災・爆発の原因となるごみの排出・搬入はやめていただくよう、適切にごみの出し方に関して改めて周知予定であるなど、市民啓発を強化していく。

## 3 今後の予定

施設のできる限り早期の復旧を目指し、被害状況調査及び火災防止対策の検討を進め、復旧及び対策に追加の予算が必要となる場合は、来年度に補正予算を提案させていただくことも含め、検討していく。

## 4 次期クリーンセンターの整備に関する検討

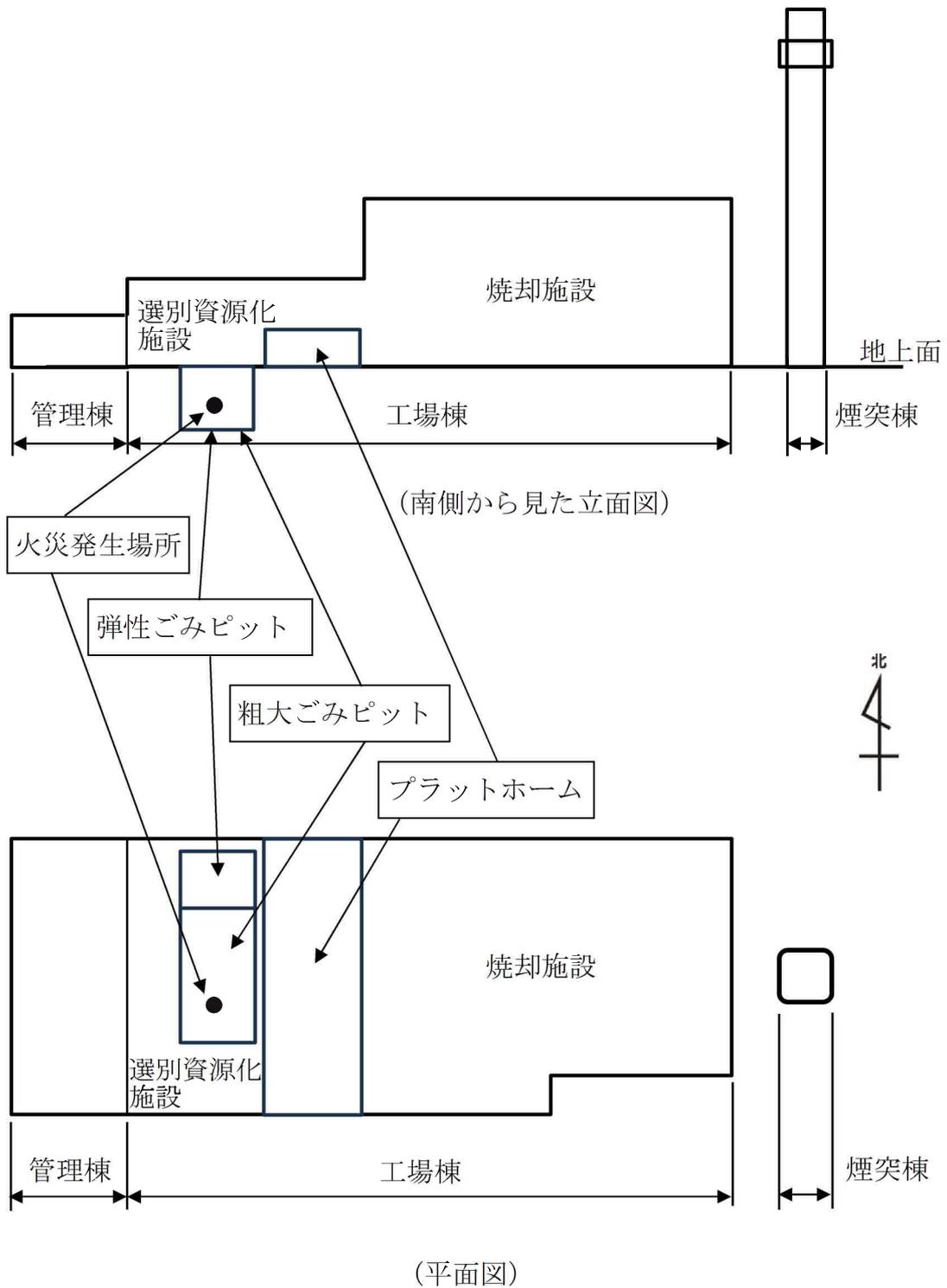
次期クリーンセンターの整備に当たり、「京・資源めぐるプラン(中間見直し案)」に「破砕施設は併設しない方向で検討する」旨を記載しているが、今回の火災を踏まえ、南部クリーンセンター選別資源化施設のバックアップや災害廃棄物の処理を行うための、小規模な破砕機の設置や可搬式破砕機の活用について検討していく。

(参考：令和7年度2月補正予算(繰越明許費補正))

火災のため、選別資源化施設の点検整備等のうち、火災以降に実施する予定であったものや、火災の被害状況の調査等について、年度内の履行が困難となる見込みであることから、繰越明許費を設定するため、本市会に補正予算案を提案している。

(単位：百万円)

款項	小事業名	繰越明許費 設定額
6 款 環境費		785
3 項 ごみ処理費	クリーンセンター運営	41
6 項 環境施設整備費	クリーンセンター等保守管理	744



※ バイオガス化施設は、選別資源化施設と焼却施設にまたがって設置。

※ 環境学習施設「さすてな京都」は、施設全体にまたがって設置。

